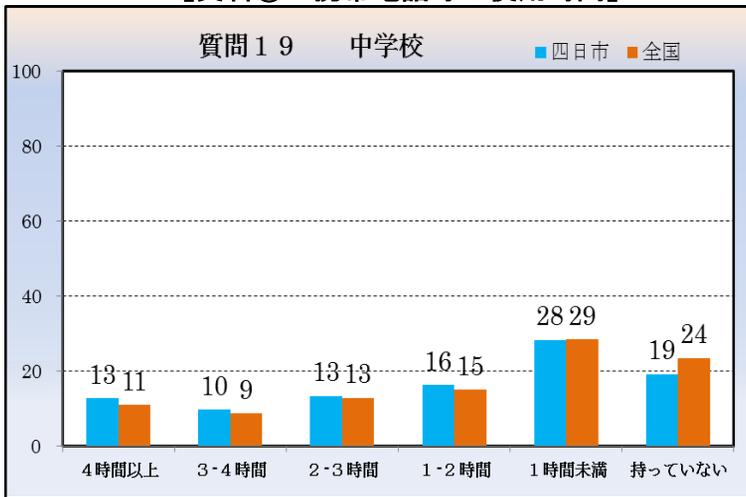


全国学力・学習状況調査結果 —第3部 学力と学習状況の相関について—

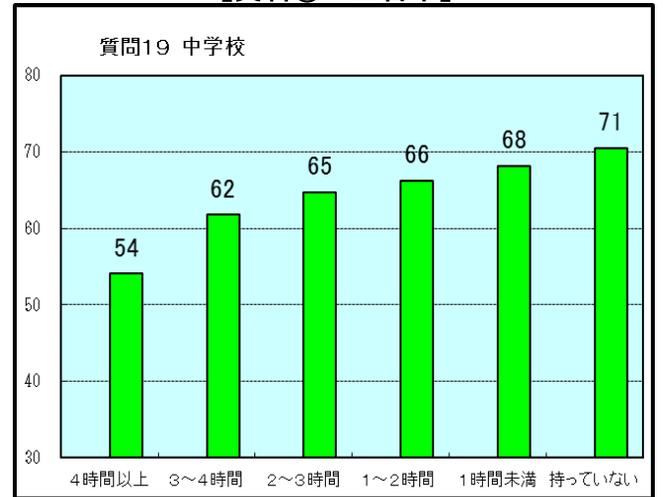
1 生活の健全さと学力

以下の資料①・②は、四日市市教育委員会の分析による「学習状況」と「学力」の関連です。これは、昨年度も紹介した平成26年度調査結果における携帯電話等の使用時間と平均正答率の相関を表したものです。グラフの見方としては、資料①で携帯電話等を1日あたり4時間以上使用している生徒は、資料②において平均正答率は54%となっているのに対し、1時間未満の使用している生徒は平均正答率が68%、携帯電話等を持っていない生徒については正答率が71%になっていることが分かります。このことから、教育委員会では「携帯電話等を使用する時間が長いほど、平均正答率が低下する傾向がみられる」と分析しています。

【資料① 携帯電話等の使用時間】



【資料② 正答率】



同様の分析から、以下のような生徒の方が、平均正答率が高い傾向にあることがわかっています。

- ア 生活習慣がきちんと確立している生徒
- イ 学校のきまりを守っている生徒
- ウ 協調性や自尊感情が高い生徒
- エ 家の人と学校での出来事について話をしている生徒
- オ 夢や目標を持っていたり、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦したりする生徒

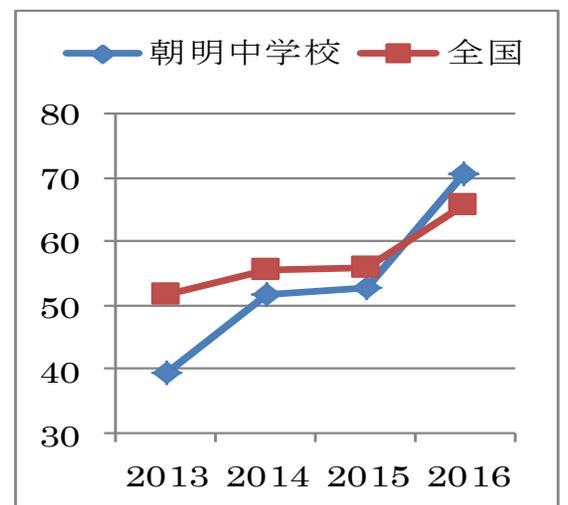
2 地域への関心を高める取組と学力

もう一つ、注目いただきたい資料を提示します。

全国学調の生徒質問紙の中に、「地域や社会で起きている問題や出来事に興味がありますか」という質問があります。これに対し「関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」という肯定的な回答について、4年間の推移を表したのが右のグラフです。

その経年変化から分かるように、地域に対する本校の生徒の関心はかつて全国に比べると高い水準とはいえませんでした。本年度は70%以上の生徒が肯定的な回答する結果となっています。

本校の教科の平均正答率はここ数年上昇していることから、地域への関心を高めるコミュニティ・スクールの取組が、学ぶ意義を高めるなどして学力の向上に効果的と考えられるのではないのでしょうか。



3 教師や授業に対する生徒の評価

生徒の学力の向上には、授業改善など教師の努力が不可欠です。これについて、生徒は生徒質問紙において次のような回答をしていますのでご紹介します。 ※肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）

質 問	肯定的な回答 (%)	
	朝明中学校	全国平均
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	81.6	78.0
先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか	49.8	45.2
1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	94.5	84.1
1、2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	89.9	84.9

これは一部ではありますが、類似の質問については、全国平均を上回る数値となっています。

今後も、上記の結果に甘えることなく、質の高い授業や行き届いた指導をめざし、教員研修を進めていきます。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。